

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学習指導要領
- ・広島県教育委員会方針
- ・豊かな心を育むひろしま宣言
- ・東広島市教育委員会方針

社会の要請

国際化、情報化、環境問題、いじめ問題、福祉・健康などへの対応

道徳教育の推進体制

校長の方針の下に、道徳教育推進教師を中心として、全教師の協力・指導體制を整える。

各教科

国語科
読むことを通して、語彙力をつけることから、判断力・豊かな心情を養う。

社会科
社会事象を公正に判断する能力と態度を育て、社会の変化に対応できる力を養う。

数学科
筋道をたてて、自分の考えを伝えようとする姿勢を養う。

理科
人間生活のかかわりの中で科学的な事象に関心を持ち問題解決の能力を養う。

音楽科
表現・鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情・感性を育て、豊かな情操を養う。

美術科
美術に親しみ、美しいものに感動する豊かな心とともに、豊かな発想力を養う。

保健体育科
自ら進んで運動の楽しさ・喜びを味わい、健康で安全な生活を送る基礎的な力を養う。

技術・家庭科
完成の喜びを知り、作ることの意欲を養う。作業を通して、思いやりや責任感を育てる。

英語科
コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図る態度を養う。

総合的な学習の時間

- ・よりよく問題を解決する資質や能力を育て、自らの生き方を考える。
- ・地域創生の視点を持ち、自らと地域との関わりや、自らがどのように地域に貢献できるかについて考える。
- ・勤労の尊さや意義を理解し、体験的な学習を生かして、社会における自らの役割や将来の生き方等について考える。

ことばの教育との連携

- ・夢や希望を表現する能力の育成
- ・言語環境の充実
- ・読書活動の推進

校訓
友愛 協力 思考 実践

学校教育目標
「夢と志」をもち、主体的に生きる生徒の育成

めざす生徒像

- ☆ 直向 - 夢中になって打ち込む姿は、周囲から支えられる人となる。
- ☆ 和顔 - 自身の安心と他者への思いやりが周囲を和ませ、慕われる人となる。
- ☆ 澁刺 - 若者らしい生のエネルギーが周囲を明るく元気づけ、夢を叶える原動力となる。

特別な教科 道徳教育の重点目標

- ・より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、着実にやり遂げる生徒の育成 **A(4)**
- ・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に学び、自らを高めていく生徒の育成 **B(9)**
- ・正義と公平さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努める生徒の育成 **C(11)**
- ・生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重する生徒の育成 **D(19)**

各学年の特別な教科道徳教育重点目標

1 学年

- 1 自主的・自律的に考え、判断し、誠実に行動すること。
- 2 思いやりの心をもって人と接し、感謝の気持ちをもって行動すること。
- 3 集団の一員としての自覚を深め、協力し合って集団生活の向上に努めること。
- 4 生命の尊さを理解し、かけがえのない生命を大切にすること。

2 学年

- 1 中堅学年として自主的・自律的に行動するとともに、充実した生き方を追求していくこと。
- 2 関わる人々に対して感謝の念を深め、思いやりの心をもって生活するようにすること。
- 3 相手の個性や立場を尊重するとともに、誰に対しても公正・公平に接すること。
- 4 かけがえのない自他の生命を尊重するとともに、生命との関わりを深めること。

3 学年

- 1 最高学年としての自覚を深め、自律の精神を重んじ、協力してよい校風を樹立するように努める。
- 2 自分の考えや意見を相手に伝え、信頼できる人間関係を築き深めていくこと。
- 3 誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、集団では協力して互いに高め合うこと。
- 4 生命がかけがえのないものであることを理解し、人間として強く生きること喜びを見いだすこと。

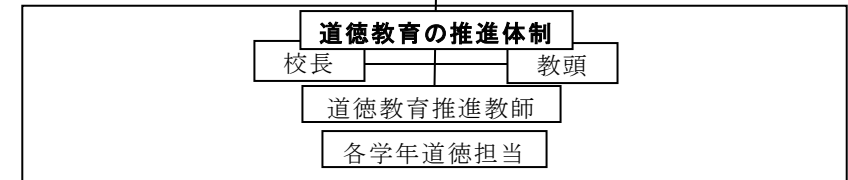
特別な教科 道徳教育の基本方針

- ・校長を中心とした全教職員の指導體制の充実(各学年の副担任による授業実施)
- ・「考え」、「議論する」道徳の時間の創造(主題、教材解釈シートの作成)
- ・生徒の内面形成をつかむ評価の工夫(ルーブリック指標の作成やマインドマップの活用、1枚ポートフォリオの活用)
- ・ICTの効果的な活用

特別な教科 道徳の時間の指導方針

- ・発問の工夫による深く考える授業づくり、話し合いや表現活動の充実による心と心の交流
- ・授業後の生徒の自己評価(意見陳述や感想文、1枚ポートフォリオ)の導入
- ・「キラリノート」を補助的資料として活用

各学年における指導計画(各学年で作成)



生徒の実態

- ・明るく素直で素朴であり、全体的には落ち着いて学習に取り組んでいる。
- ・学年が上がるにつれリーダーシップ能力が上がる。
- ・他を受け入れられず心ない言動をしてしまうことがある。
- ・自分自信の考え方を持っているが、人にわかりやすく伝えることが苦手である。

教職員の願い

- ・思いやりのある生徒
- ・感動する豊かな心をもつ生徒
- ・基本的な生活習慣の身に付いている生徒
- ・自主的実践的な活動ができる生徒

保護者の願い

- ・思いやりのある子
- ・よりよい人間関係を築ける子

特別活動

学級活動

学級文化の創造を通して、互いに支え合う集団を育てる。

- ・問題解決能力を養う。
- ・自己決定の能力を養う。

生徒会活動

積極的・自主的・自発的に活動し、学校生活の向上を図ろうとする態度を育てる。

部活動

- ・自主的・自発的な活動を通して、個性の伸長を図る。
- ・問題解決を図ることを通して望ましい人間関係を育てる。

学校行事

諸行事への取組を通して、集団への所属感・愛校心を深めるとともに、充実した学校生活にしようとする態度を育てる。

環境の充実・整備

- ・掲示物の工夫(生徒の活動の見える掲示・季節感など)
- ・緑化活動の充実

生活全般

- ・人間関係の充実
- ・清掃活動の徹底
- ・整理整頓の徹底
- ・あいさつ運動の推奨
- ・歌声の響く学校づくり

家庭・地域との連携

- ・授業参観、学級懇談会の実施
- ・家庭訪問の実施
- ・地域の方々の授業への参加
- ・地域の教材化を通して交流を深める
- ・生徒会を中心とした地域でのボランティア活動

近隣校等との連携

- ・保育所、小学校、高等学校との交流
- ・特別支援学校の巡回相談
- ・合同研修(研究授業、実践交流など)